

検 定 意 見 書

20 枚中 1 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	口絵3	上段	備中鯀 写真	誤りである。 (写真は備中鯀ではない。)	3- (1)	
2	2	中段右	1500年以上	不正確である。 (「1500年以上」ではない。)	3- (1)	
3	5	中段	バイオマスの処理工場 (p181)	誤りである。 (「p181」にない。)	3- (1)	
4	5	中段	生物由来の資源をバイオマスという。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (生物由来の資源が全てバイオマスであると誤解する。)	3- (3)	
5	7	右上図	マザーボードの画像の中心部	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2- (7)	
6	10	左列	プラスチックの性質と利用 22 プラスチックのリサイクル 23 22ページ1行 プラスチック材料の性質と利用 23ページ1行 プラスチック材料のリ	表記が不統一である。	3- (4)	
			サイクル			
7	10	右列	5 エネルギー問題を解決する技術 140 140ページ上段 5 エネルギーの問題を解決する技術	表記が不統一である。	3- (4)	
8	11	左列	2 生物育成技術 生物育成の成果と課題 155ページ1行 生物育成の技術の成果と課題	表記が不統一である。	3- (4)	
9	14	中段右	組み立て図の例 24ページ中段 組立て図 63ページ図2 組立て図 (2か所) (以下省略)	表記が不統一である。	3- (4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 2 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
10	16	18 - 23	ペットとして動物を飼うのとは異なり、飼料（餌）、温度、湿度、換気、広さ、衛生などの飼育環境に気を配るほか、……地域に迷惑が及ばないくふうが求められます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ペットには飼育環境に気を配ることや地域に迷惑が及ばないくふうが不要と誤解する。）	3- (3)	
11	16	19 - 20	飼料（餌）（えさ）	誤記である。 （「えさ」の位置）	3- (2)	
12	16	中段	トマトの完成例	誤記である。 （完成）	3- (2)	
13	17	19	製作 （以下 218ページ8個）	表記の基準によっていない。 （学習指導要領に示す用語によっていない。）	3- (4)	
14	24	下段	仮組立 本組立 25ページ上段 仮組立て 本組立て 26ページ上段 仮組立て 本組立て 28ページ22行 組み立て 82～85ページ上段 組立て	表記が不統一である。	3- (4)	
			（以下省略）			
15	26	下段右	任意の角度に曲げるときは、三角定規やジグを使うこともある。 33ページ上段右写真 ジグを利用した「のこぎりびき」 34ページ上段右 ジグを適切に使うこ	生徒にとって理解し難い表現である。 （「ジグ」について説明が不足している。）	3- (3)	
			とで、だれにでも正確な加工ができます。 35ページ下段右 ⑤切断用ジグ ⑥ジグガイド 38ページ ジグガイド（3か所）ジグ			
			（3か所） 42ページ中段右 ジグ（8mm厚の角棒） 48ページ上段左 ジグを使って正確な製作に取り組みましょう。			
			48ページ上段右 ⑤切断用ジグ 49ページ中段左 ジグ 49ページ下段 ジグの製作（全体） 65ページ図7 切断ジグを使用し、 70ページ上段左 ジグ（2か所）			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 3 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
			74ページ上段右 ジグを活用して正確に切断し、 74ページ中段左 ジグを応用して、 75ページ中段右 ⑪のこぎりびきジグ 76ページ下段 ジグ（2か所）			
16	29	14 - 15	金・銀・ニッケル・クロムなどの希少金属（レアメタル） 図11 Au（黒字，5か所） Ag（黒字，7か所） ※赤字がレアメタル	相互に矛盾している。	3- (1)	
17	29	図11	SiO2	誤記である。	3- (2)	
18	32	上段左	組み立てる方法 67ページ7行 組立てます。 （以下省略）	表記が不統一である。	3- (4)	
19	33	3	「工具や補助具を上手にを使って加工すること」 90ページ左列中 ②工具や補助具を上手にを使って加工する。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「補助具」について説明がない。）	3- (3)	
20	34	下段	左上図 16 226 16 226 16 のうち中央の「16」	生徒にとって理解し難い図である。 （寸法補助線が不足している。）	3- (3)	
21	37	中段右	「寸法の取り方」図 右側の「仕上げ寸法」の寸法線・寸法補助線 90ページ左列中段の図 右側の「仕上げ寸法」の寸法線・寸法補助線	生徒にとって理解し難い図である。 （寸法補助線が不足している。）	3- (3)	
22	45	上段	接合 ①くぎによる接合 くぎを打つ前に、接合面に接着剤を塗り、接合部がずれないように組み合わせます。接着剤が乾かないうちにく	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「くぎによる接合」において必ず接着剤塗りが必要と誤解する。）	3- (3)	
			ぎを打ち、接着面をしめつけます。… …はみ出した接着剤は固く絞った濡れぞうきんで拭きとると、仕上がりが美しくなります。			
23	45	右下	●ざぐり 埋め込むための穴 91ページ左列③正確なものづくり 埋め込むための穴	表記が不統一である。	3- (4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 4 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
24	50	上段右	側板②の上部より19mmの位置に脚③をねじどめする。 48ページ中段左図 350 48ページ中段右 ③ 脚 89mm×310mm×19mm	相互に矛盾している。	3- (1)	
			48ページ下段図 脚 (310)			
25	57	下囲み	神輿	表記の基準によっていない。 （「輿」は常用漢字以外の漢字であって初出であるが、読み方が示されていない。）	3- (4)	
26	60	6 - 7	木材は縦方向の圧縮力に対する強さ（圧縮強さ）がとても大きい材料です（図8）。 図8（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （本文「圧縮強さ」と図8縦軸「比強度」との関係）	3- (3)	
27	66	図8	キャビネット図（全体） 90ページ右列中段 キャビネット図（全体）	不正確である。 （奥行き方向の線）	3- (1)	
28	66	図10	図全体 図9全体	不正確である。 （7～9行「等角図：立体の底面の直角に交わる2辺を水平面に対して30°傾けてかき、幅、高さ、奥行きの長さを実物と同じ割合で表します。」と合致しない。）	3- (1)	
29	67	3 - 4	材料取り図も1/4に縮めてかきます。 例えば、実物で1,820mmのところは455mmにかきます（図12、図14）。 図12（全体） 図14（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （図12・図14の内容と本文との関係）	3- (3)	
30	67	図12	「寸法線」の引出線	誤りである。 （引出線が指示する位置）	3- (1)	
31	67	図14	気を付けよう。 27ページ下段左 気をつけましょう。 28ページ下段囲み 気をつけます。 55ページ上段右 気をつけながら	表記が不統一である。	3- (4)	
32	68	上段下 囲み	①前ページの模型と左の問題点の例を見て、その修正案を考えてみよう。 修正案の例：切りしろを取るために背板の幅を1mm短くする。 67ページ全体（主に図13）	相互の関連が適切でない。 （「前ページの模型と左の問題点の例」には「切りしろ」「背板」が見当たらない。）	2- (11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 5 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
			図15			
33	69	図17	「③幕板短」下の「1464」の寸法線	不正確である。 （端末記号）	3-（1）	
34	69	図18	⑥ ぬき長 19×89×486 図17 ⑥ぬき長(486)（2か所）	相互に矛盾している。	3-（1）	
35	69	図19	問題点3 450mmの高さを419mmにし、足をのせて押さえやすいものにする。脚の長さも421mmから400mmとなり、66ページ図10	生徒にとって理解し難い表現である。 （「脚の長さも421mmから400mmとなり」）	3-（3）	
			68ページ図16 図17 図18			
36	70	上段右写真	「10」の寸法線	生徒にとって理解し難い表現である。 （どこが「10」か明確でない。）	3-（3）	
37	70	下段右写真	脚④	不正確である。 （脚④ではない。）	3-（1）	
38	71	上段左写真	「50」の寸法線・寸法補助線	生徒にとって理解し難い表現である。 （寸法補助線の位置、68ページ図16・69ページ図17・69ページ図18・71ページ下段右写真等との比較）	3-（3）	
39	71	下段左写真説明文	天板（3か所） 66ページ図9 座板 69ページ図17 座板（3か所） 69ページ図18 座板	表記が不統一である。	3-（4）	
40	73	中段左	バリ取り 82～85ページ上段 バリとり 83ページ上段左 バリを取り除く 83ページ中段右 バリ取り 83ページ下段右 バリ取り（2か所）	表記が不統一である。	3-（4）	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 6 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
41	73	下段左	ナットの取り付け 82～85ページ上段 取り付け 77ページ下段右 ドリル刃を取りつけて、 82ページ中段右 パイプカッターを取	表記が不統一である。	3- (4)	
			り付け、 84ページ中段右 ナットリベットを取り付ける。 84ページ下段左 ナットリベットを取り付ける。（2か所）			
			(以下省略)			
42	78	下段右	棚幕板⑥の両端に6mmの穴をあける。 これを棚板⑦のふちに接着して棚板を2組つくる。 79ページ上段左 棚幕板⑥を棚板⑧のふちに接着する。	不正確である。 （78ページ上段右「棚幕板⑤を⑥に接着するときも、」と整合が取れない。）	3- (1)	
43	79	下段右	棚板⑧を接着し、	生徒にとって理解し難い表現である。 （何と接着するのか分からない。）	3- (3)	
44	83	上段	「穴あけ」（白地小活字） 上段6（全体） 中段7・8（全体）	相互の関連が適切でない。 （上段・中段の内容）	2- (11)	
45	98	9 - 11	現在運転中の最大級の発電機は、約100万kWの電力を発電できるので、1台で数万世帯分の電気をまかなえることになります。	生徒にとって理解し難い表現である。 （なぜ、1台で数万世帯分の電気をまかなえることになるのか、説明が不足しているため理解し難い。）	3- (3)	
46	99	8 - 9	二酸化炭素の排出量（温暖化）（図15）などの環境問題	生徒にとって理解し難い表現である。 （「二酸化炭素の排出量」と「温暖化」の関係について、説明が不足しているため理解し難い。）	3- (3)	
47	100	7 - 8	電気エネルギーは光・熱・動力など、他のエネルギーに変えやすいため 100ページ 図1 右下の表記「動力のエネルギーに変換」	生徒にとって理解し難い表現である。 （動力は運動エネルギーではないため理解し難い。）	3- (3)	
			101ページ 2行 「電気エネルギーは光・熱・動力に変換されて」			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 7 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
			105ページ 2行 「電気エネルギーを運動エネルギー（動力）に変換する」 105ページ 注3			
			「動力機械をはたらかせる運動エネルギーのこと。」			
48	103	図7	図の下の記述 「真空にして、少量の水銀を入れる」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「真空にして」は、管内の気圧について誤解する。）	3- (3)	
49	105	図9	左側のモータから出ている線	生徒にとって理解し難い図である。 （細い線が何を意味しているのか理解し難い。）	3- (3)	
50	105	図10	右下の説明文 4～5行 「120° 回転するごとに電流の向きが入れ替わるようになっている。」	不正確である。 （「120°」は不正確である。）	3- (1)	
51	106	図11	右側の柱上変圧器のイラスト	生徒が誤解するおそれのある図である。 （家庭や事務所が柱上変圧器から直接受電するように誤解する。）	3- (3)	
52	106	図11	左側の原子力発電所のイラスト	生徒が誤解するおそれのある図である。 （原子力発電所において、排気があるように誤解する。）	3- (3)	
53	106	図11	中央付近の表記 「大工場 発電所」	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明が不足しているため理解し難い。）	3- (3)	
54	107	図12	上側の屋内配線の図 左側の電柱から電力量計の電線の途中にあるオレンジ色の四角形（3か所）	生徒にとって理解し難い図である。 （これらの四角形が何か分からないため理解し難い。）	3- (3)	
55	107	図12	上側の屋内配線の図 右下付近の接地の図記号	表記の基準によっていない。 （JISと異なっている。）	3- (4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 8 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
56	108	囲み	考えよう の囲み 真夏における1日の電力の推移 のグラフ 横軸の目盛と数字	生徒にとって理解し難い図である。 （横軸の目盛と数字がずれているため理解し難い。）	3- (3)	
57	113	図4	B の下の表 ●スイッチをAにつないだとき 「電球2 点灯」	誤記である。 （「点灯」は誤記である。）	3- (2)	
			●スイッチをIにつないだとき 「電球1 点灯」			
58	113	囲み	やってみよう の囲み 全体	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、 また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2- (16)	
59	113	囲み	やってみよう の囲み 回路図 LED, Tr (2か所), コンデンサマイク 、スピーカーの図記号	表記の基準によっていない。 （JISと異なっている。）	3- (4)	
60	115	囲み	資料 電気回路を利用した作品の例 の囲み 資料1 の中央の図の表記 「切り換えスイッチ」	表記が不統一である。	3- (4)	
			111ページ 実習 切りかえスイッチ をつくってみよう の囲み タイトル「切りかえスイッチ」 中央付近の図の上の表記「切りかえス イッチ」			
61	116	表	部品表 の右側 板材（天板） の 寸法・種類 の欄 「12mm×120mm×326mm」	不正確である。 （「120mm」は不正確である。）	3- (1)	
62	117	図	回路図 安定器の図記号	表記の基準によっていない。 （JISと異なっている。）	3- (4)	
63	118		ページの上付近 タイトルの下の作業手順の表示 「ゴムを除く」	生徒にとって理解し難い表現である。 （本文の「2 ビニルでおおわれている部分をニッパ の穴を利用して取り除き、心線をより合わせる。」と 異なっているため理解し難い。）	3- (3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 9 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
64	120	図	製作する回路 の図 電源（12V）、ヒューズ、LED（9か所）の図記号	表記の基準によっていない。 （JISと異なっている。）	3- (4)
65	124	表	部品表 の8段目 「3φ」	誤記である。	3- (2)
66	124	表	部品表 の右側の写真 ②の写真	生徒にとって理解し難い写真である。 （②の写真は、13Tの歯車ではなく理解し難い。）	3- (3)
67	126	6	送りハンドル 126ページの右の写真の中央付近の表記 「手送りハンドル」	表記が不統一である。	3- (4)
			126ページ 手送りハンドルの点検と 渦巻きばね の囲み タイトルの「手送りハンドル」 説明文の1行の「手送りハンドル」		
68	133	図16	左側付近の板厚を表す「10」 132ページ図14 「① 本体基板 木板 150mm×80mm ×5mm 1」	相互に矛盾している。	3- (1)
69	134	1	見出し番号「3」	誤記である。	3- (2)
70	137	表	必要な材料 の表 1段目「プラ板（ベニヤ板も可）」	生徒にとって理解し難い表現である。 （137ページ 基板のつくり方、138ページ ライントレースカーの製作 では、厚紙（型紙）を使用しているため理解し難い。）	3- (3)
71	137	表	必要な材料 の表 3段目「フォトダイオード NJL7502L 型（または同等品）」 図23	生徒にとって理解し難い表現である。 （「NJL7502L型」はフォトダイオードではないため理解し難い。）	3- (3)
			全体		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 10 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
72	140	図1	タイトルの下の記述 「日本のエネルギー消費は、民政・運輸部門で増加」の「民政」	誤記である。	3-(2)
73	140	図1	民生部門の 説明文の「家庭は焦点」	誤記である。	3-(2)
74	140	図1	グラフ上の2007年の構成を表す数値 運輸部門の「23.2%」 民生部門の「34.1%」 産業部門の「45.3%」	生徒にとって理解し難い図である。 (合計が100%を超えるため理解し難い。)	3-(3)
75	141	図3	左側付近の表記 「①蒸気タービン」の位置	生徒が誤解するおそれのある図である。 (発電機を蒸気タービンと誤解する。)	3-(3)
76	143	図	右上の2つの図 走行時（エンジンとモータで走行）の図 減速時（発電した電力をバッテリーに蓄える）の図	生徒にとって理解し難い図である。 (説明が不足しているため理解し難い。)	3-(3)
			全体		
77	143	注3	2行目 「Intergovernmental」	誤記である。	3-(2)
78	143	囲み	IPCC 第5次評価報告書の概要の囲み 現状の1行 「平均気温は0.8℃上昇し（図8）」	不正確である。 (「0.8℃」は不正確である。また、「図8」は存在しない。)	3-(1)
79	146	下段	普通のトマトのたねを養液栽培の装置で育てた結果、1本のトマトが直径約14mmにも枝を広げ、約12,000個の実を付けました。通常の土耕栽培で収穫できるトマトの数は、1株から80個ほど	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (養液栽培の方が土耕栽培より単位面積当たりの収穫量が増えると誤解する。)	3-(3)
			です。私たちは、さまざまな栽培技術によって収穫量を増やすことに成功してきました。		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 11 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
80	151	下段	写真 写真左は徒長したベビーリーフ	生徒にとって理解し難い表現，写真である。 (写真左側のベビーリーフが徒長の例として理解し難い。)	3- (3)	
81	153	21	飼料 (えさ) 16ページ19～20行 飼料 (餌)	表記が不統一である。	3- (4)	
82	153	注1	品種 作物や家畜のなかではかの集団とは明らかに区別できる形や性質をもつひとつの集団のこと。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (異なる作物種間や家畜種間の違いが品種であると誤解する。)	3- (3)	
83	155	2 - 4	全世界の耕地面積は14億ヘクタール， そのうち穀物を収穫することのできる面積は6.7億ヘクタール	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (耕地面積の半分以上が穀物を栽培できないと誤解する。)	3- (3)	
84	155	注1	食料輸入量×輸送距離 (……) で表す。 201ページ上段左 食料の輸入量に輸送距離をかけたもの。	生徒にとって理解し難い表現である。 (155ページ注1 「食料 (food) の輸送距離 (mileage)」に照らして理解し難い。)	3- (3)	
85	156	図1	地中海沿岸地域 ハクサイ	誤りである。 (地中海沿岸地域ではない。)	3- (1)	
86	157	図2	[原産地] 地中海沿岸、華南高地、中央アジア 200ページ中段 たね袋の見方 [原産地] 地中海沿岸、華南高地、中央アジア	生徒にとって理解し難い表現である。 (156ページ図1 中央アジア地域 178ページ上段 原産地 中央アジア 184ページ上段 中央アジア 186ページ図8 原産地 中央アジアと異なり理解し難い。)	3- (3)	
87	158	7	4 野菜の分類を覚えよう	相互の関連が適切でない。 (11ページ目次に記載がない。)	2- (11)	
88	158	図6	果菜類 トウモロコシのように未熟な子実を利用するもの	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全てのトウモロコシが未熟な種子のみを利用していると誤解する。)	3- (3)	
89	158	図6	根菜類 ダイコンやカブ、ニンジンのようにまっすぐに根が伸びるものと、ジャガイモやサトイモのように地下茎が肥大するものに分けられます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (根菜類にはまっすぐに根が伸びるものと地下茎が肥大するものしかないと誤解する。)	3- (3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 12 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
90	160	上段	学名 Solanum lycopersicum	不正確である。 (学名が不正確である。)	3- (1)	
91	160	下段	図 生育適温(日中)の温度域, 生育適温(夜間)の温度域 表の適温 気温(昼間) 25～28℃, 気温(夜間) 13～17℃	相互に矛盾している。	3- (1)	
92	160	下段	図 生育適温 日中 表 生育(気温) 昼間	表記が不統一である。	3- (4)	
93	162	下段	土壌の酸性度 (pH)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (pHが酸性度であると誤解する。)	3- (3)	
94	163	上段	10 化学肥料 化成肥料……を施して	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (化学肥料と化成肥料が同一のものと誤解する。)	3- (3)	
95	166	上段	黄抜き大活字 定植 上段 18・19全体 中段 全体	相互の関連が適切でない。 (定植と上段, 中段の内容)	2- (11)	
96	166	上段	19 1株あたり約8. 5gの化成肥料を施す。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての化成肥料の養分含有率が同一であると誤解する。)	3- (3)	
97	166	中段	わき芽(3か所) 167ページ下段 摘芽(わき芽摘み)の方法 わき芽(5か所) 271ページ右段下 わき芽摘み 159ページ光合成のしくみ えき芽	表記が不統一である。	3- (4)	
98	168	下段	アブラムシ類 秋(8, 9月)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「秋(8, 9月)」)	3- (3)	
99	170	上段	学名 Spinacia oleracea	不正確である。 (学名が不正確である。)	3- (1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 13 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
100	171	中段	6 土寄せ	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)
101	171	下段	昼の時間が夜よりも長くなると花芽ができる長日植物	生徒にとって理解し難い表現である。 (長日植物の説明として理解し難い。)	3-(3)
102	172	上段	学名 Chrysanthemum × morifolium	不正確である。 (学名が不正確である。)	3-(1)
103	173	下段	わい化处理 摘しん わい化处理 写真下 摘芯	表記が不統一である。	3-(4)
104	174	上段	学名 Viola × wittrockiana 266ページ下段左 Viola × wittrockiana	不正確である。 (学名が不正確である。)	3-(1)
105	174	上段	原産地 北ヨーロッパ 184ページ中段 バンジー/ビオラ 北ヨーロッパ 266ページ 下段左 北ヨーロッパ	生徒にとって理解し難い表現である。 (原産地は156ページ注1 「作物がもともと自生していた場所」に照らして理解し難い。)	3-(3)
106	176	上段	学名 Tulipa gesneriana	不正確である。 (学名が不正確である。)	3-(1)
107	176	上段	原産地 中央アジア～北アフリカ 184ページ下段 チューリップ 地中海～近東	相互に矛盾している。	3-(1)
108	176	上段	チューリップの球根 りん片 外側球芽	生徒にとって理解し難い図である。 (両者の区別が困難である。)	3-(3)
109	176	下段	冷蔵チューリップのメカニズム 冷凍球根	誤記である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 14 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
110	178	上段	学名 Raphanus sativus	不正確である。 (学名が不正確である。)	3- (1)	
111	178	下段図	最高気温 1月のデータ 横軸 9 10 11 12 1 2(月) の位置	不正確である。 (1月の最高気温, 横軸の9～2(月) の位置)	3- (1)	
112	179	上段	5 深さ2cm 5の写真 深さ2cm 5の写真 2cm 187ページ上段 9月8日(金) 深さ1cm	生徒にとって理解し難い表現である。 (深さが異なり理解し難い。)	3- (3)	
113	179	中段	強風時にも寄り添い合って根がしっかりと のびていく(協同現象)。	生徒にとって理解し難い表現である。 (協同現象の説明が不十分である。)	3- (3)	
114	181	上段	13 土1Lあたり0.3gの有機配合肥料… …25Lの培養土では約7g施す。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての有機配合肥料の養分含有率が同一であると誤解する。)	3- (3)	
115	183	下段	ダイコンは、……生産量が最も多い代 表的な野菜	誤りである。 (ダイコンは生産量が最も多い野菜ではない。)	3- (1)	
116	184	左列	イネ Oryza sativa ホウレンソウ Spinacia oleracea コマツナ Brassica campestris リーフレタス Lactuca sativa ジャガイモ Solanum tuberosum	不正確である。 (学名が不正確である。)	3- (1)	
			ダイコン Raphanus sativus ミニトマト Solanum lycopersicum キュウリ Cucumis sativus ナス Solanum melongena スイカ Citrullus lanatu			
			エダマメ Glycina max パンジー/ビオラ Viola × wittrockiana ヒマワリ Helianthus annuus キク Chrysanthemum × morifolium			
			ダリア Dahlia × cultorum チューリップ Tulipa ポトス Epipremnum aureum			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 15 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
117	184	上段	イネ 定植	不正確である。 (イネには用いない。)	3- (1)	
118	186	図8	植物の分類 大根 186ページ図8 品目名 ダイコン	表記が不統一である。	3- (4)	
119	186	図8	栽培計画10/13 止め肥	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3- (3)	
120	187	中段	9月29日(金) 中耕	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3- (3)	
121	187	中段	9月29日(金) たねをまいて4週間 本葉は3月に1枚増えている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「本葉は3月に1枚増えている」が理解し難い。)	3- (3)	
122	188	2 - 3	鮮魚、精肉、牛乳や乳製品、卵など、 漁業や畜産業によって生産される食品 188ページ上段 動物を飼育する技術 肉や魚などの食品は、畜産業や養殖業によって生産・供給されます。ニワ	生徒にとって理解し難い表現である。 (養殖業と漁業の説明が混在し理解し難い。)	3- (3)	
			トリやウシの飼育、魚介類の飼育には 188ページ中段 図1 畜産や養殖の例 写真 水あげされた魚			
123	189	図2	鶏卵 1980 192.2	誤りである。 (出典に照らして192.2は誤りである。)	3- (1)	
124	189	図4	図全体	不正確である。 (出典に照らしてデータが不正確である。)	3- (1)	
125	190	5 - 6	ニワトリは明るいほうが卵を多く産む 201ページ 右下 養鶏場で人工の照明を使い明るくする	生徒にとって理解し難い表現である。 (明るい時間を延長するのか明るさの強度を増すのか が不明確である。)	3- (3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 16 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
126	191	下段	図全体	作業の安全について適切な配慮がされていない。 (野鳥の侵入やふん尿の落下などを防止する等の鳥インフルエンザ対策が必要である。)	固有 1- (2)	
127	195	19 - 20	ふん尿 (バイオマス)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ふん尿だけがバイオマスであるかのように誤解する。)	3- (3)	
128	195	19 - 20	ふん尿 195ページ図24 家畜排せつ物	表記が不統一である。	3- (4)	
129	197	図3	図全体	生徒にとって理解し難い図である。 (1人当たりの収穫面積が1961に1でないことが理解し難い。)	3- (3)	
130	198	1 - 2	自然界に存在する天敵や、微生物、昆虫のフェロモンなどを利用する方法 (生物農薬) もあります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (利用する方法が生物農薬であると誤解する。)	3- (3)	
131	199	図10	3Fから4Fの矢印 4Fから3Fの矢印	生徒にとって理解し難い図である。 (説明がなく理解し難い。)	3- (3)	
132	201	左列	201ページ章末問題 ふつうは、たねの厚さの2～3倍の土をかける。 156～187ページ全体	相互の関連が適切でない。 (156～187ページに関連する記載がない。)	2- (11)	
133	205	図3	文字コード表 934x	誤記である。	3- (2)	
134	205	図5	置きかえる (以下248ページ6行 置きかえます) 同ページ3行など 置き換えて	表記が不統一である。	3- (4)	
135	208	図9	コンピュータのハードウェアのしくみ CD-ROM タッチパネル USBメモリ ネットワーク接続装置	生徒が誤解するおそれのある図である。 (各装置の機能について誤解する。)	3- (3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 17 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
136	214	下囲み	やってみよう ④ 	不正確である。 （二重引用符）	3- (1)	
137	215	3 - 4	コンピュータウィルス （以下14, 16, 18行, 270ページ中段） 269ページ 右上 コンピュータウィルス	表記が不統一である。	3- (4)	
138	216	20 - 21	便利である反面，プライバシーや個人情報 の扱い方に十分な注意が必要です 。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「十分な注意」について具体的な説明がなく理解し 難い。）	3- (3)	
139	217	注8	創作によって発生した権利（著作物） を保護する法律。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （発生した権利を著作物と呼ぶものと誤解する。）	3- (3)	
140	219	図4	現状からゴールへの道のり 現状とゴールの間の作業 同ページ 図3 作業ごとに分類 「写真」	相互に矛盾している。	3- (1)	
141	220	9 - 10	ソフトウェア 218ページ 6行など ソフトウェア	表記が不統一である。	3- (4)	
142	222	13	はり付けます （以下226ページ図15 はり付ける） 228ページ8行など 貼り付け	表記が不統一である。	3- (4)	
143	227	8	読みこむと （以下230ページ図24 読みこみ） 同ページ5行など 読み込み	表記が不統一である。	3- (4)	
144	234	3	デジタルポスター 同ページ 図32など デジタルポスター	表記が不統一である。	3- (4)	
145	237	16 - 17	著作権やプライバシー保護に配慮して ，安全に情報を公開するよう心がけま しょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「配慮」について具体的な説明が無く理解し難い。 ）	3- (3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 18 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
146	239	図2	赤外線ランプ 赤外線センサ	生徒にとって理解し難い表現である。 (上の図に「赤外線ランプ, 赤外線センサ」は明記されておらず理解し難い。)	3-(3)
147	242	図5	If A < > B Then ...	不正確である。 (演算子)	3-(1)
148	244	図9	「秘密の数」を入力する 図10 「問題」の入力 247ページ 図16 図17 も同じ	表記が不統一である。	3-(4)
149	244	図10	Mondai 245ページ 図13など mondai	表記が不統一である。	3-(4)
150	245	図12 右	「ボタン」 部品の文字を「秘密の数の 入力」に変更し、... [例] の下のボタン「数当てゲーム」	相互に矛盾している。	3-(1)
151	246	図15 左	すべてのWindowsフォーム	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
152	247	図17	5 回答えられるフローチャート 分岐処理 246ページ 中段 プログラムのきまり 分岐処理	相互に矛盾している。	3-(1)
153	248	図19	モーター (以下 249ページ6, 7行 図21, 22 253ページ図27) 同ページ 7, 10行など モータ	表記が不統一である。	3-(4)
154	253	図27	タイマー (4個) 251ページ図24 タイマ	表記が不統一である。	3-(4)
155	256	図8	種まき 149ページ上段 たねまき 他多数	表記が不統一である。	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

20 枚中 19 枚目

受理番号 26-18		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
156	266	上段	ハウレンソウ [科・属名] アカザ科	不正確である。 （「アカザ科」）	3- (1)	
157	266	上段	ハウレンソウ [原産地] 中央アジア	生徒にとって理解し難い表現である。 （156ページ図1 中近東地域 170ページ上段 原産地 中近東 184ページ上段 中近東と異なり理解し難い。）	3- (3)	
158	266	上段	リーフレタス [原産地] 中近東内陸，小アジア	生徒にとって理解し難い表現である。 （156ページ図1 中近東地域 184ページ上段 近東～地中海沿岸と異なり理解し難い。）	3- (3)	
159	266	中段	トマト [原産地] 中南米	生徒にとって理解し難い表現である。 （156ページ図1 南アメリカ地域 160ページ上段 原産地 南アメリカ・アンデス高原 184ページ中段 南アメリカ（アンデス高原）と異なり理解し難い。）	3- (3)	
160	266	下段	パンジーの袋	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2- (7)	
161	268	左上	アップデード	誤記である。	3- (2)	
162	268	左上	そのためのの	誤記である。	3- (2)	
163	271	左上	テオ・ヤンセン……122	誤りである。 （122ページにない。）	3- (1)	
164	口絵4	囲み	電気製品にみられるマーク の囲み 説明文 「電気製品には安全を示すマークが使われています。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （PSEマークを表示することができる電気製品について誤解する。）	3- (3)	
			PSEマーク の説明文 「安全な電気製品の製造や輸入業者であることを示す。」			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

20 枚中 20 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 1 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	8 - 9	囲み	誰が 作る人は誰か。 何のために 作る目的は何か。 どのように どのように作るのか。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「使用目的・使用条件」として不適切である。）	3- (3)
2	31	下段右	バトミントン	誤記である。	3- (2)
3	48	中段	製作品のキャビネット図の描き方の例 ①全体の高さ・幅の寸法を取り、正面図を描く。 ③各部品をの厚みを描き加える。 棚板と底板は下側に、側板は外側に厚	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「全体の高さ」）	3- (3)
			みを加えたよ。 下段： 製作品の等角図の描き方の例 ①全体の高さ・幅・奥行きを描く。		
			②内側に向かって（削るようにして） 側板、裏板の厚さを描く。		
4	52	図3	下図	不正確である。 （例えば、12/12/314/12/34の寸法線・寸法補助線）	3- (1)
5	56	上段図	直角や（なな）斜めの方向に	誤記である。 （「（なな）」の位置）	3- (2)
6	56	中段右	ジグ 当て木やジグを使うかして、のこ身のもとの部分の刃で正確に切り込む。 83ページ図3中段右表 組み立てのときにジグを使って正確に早く作業でき	生徒にとって理解し難い表現である。 （「ジグ」について説明が不足している。）	3- (3)
			た。		
7	63	上段	リンク p. 67 「めねじの下穴径」	誤りである。 （「p. 67」にない。）	3- (1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 2 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
8	64	下段③	「横送りハンドル：バイトを主軸と直角方向に送る。」及び引出線	生徒にとって理解し難い表現である。 (写真の説明として不適切である。)	3-(3)
9	67	下段左	●プラスチックの切断面などに	生徒にとって理解し難い表現である。 (「●こぼが欠けた場合」「●板が割れた場合」と比べて、見出しとして理解し難い。)	3-(3)
10	68	上段図	支え棒 (2か所) 52ページ表1 仕切り棒 52ページ図4 仕切り棒 53ページ表2 仕切り棒 (3か所) 83ページ図3 仕切り棒 (2か所)	表記が不統一である。	3-(4)
11	69	全体	くぎ接合 (全体) ④接着剤の塗布 (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「くぎ接合」において必ず「接着剤の塗布」が必要と誤解する。)	3-(3)
12	70	中段左	丸木ねじ タッピンねじ 木材に使う	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (タッピンねじの使用範囲)	3-(3)
13	78	図1	90 図2 90 (2か所) 120 (3か所) 部品表 ② 90 ③ 130	相互に矛盾している。	3-(1)
14	78	図3	左等角図 60	不正確である。 (図4・部品表と比較して)	3-(1)
15	79	図5	324 276 100 図6 100 (2か所) 部品表 ③ 100 ④ 2×300×300	相互に矛盾している。	3-(1)
16	79	上段部品表	⑤・仕上がり寸法 2×160×480 図5 ⑤ (全体)	相互に矛盾している。	3-(1)
17	79	図7	60 (右図) 295 図8 295 (2か所) 部品表 ① 12×210×95	相互に矛盾している。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 3 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
18	79	図8	①（2枚、全体） 図7 ①（2枚、全体）	相互に矛盾している。	3- (1)
19	96	囲み	観察 の囲み 中央付近の表記 「太陽電池用モータ」	生徒にとって理解し難い表現である。 （「太陽電池用モータ」についての説明がなく理解し難い。）	3- (3)
20	97	図2	火力発電 発電の仕組み の図 電気集じん器，排煙脱硫装置，排煙脱硝装置の部分	不正確である。 （電気集じん器，排煙脱硫装置，排煙脱硝装置の接続の順番が不正確である。）	3- (1)
21	97	図2	原子力発電 課題と発電にかかる費用 説明文8行 「8.9円～/kWh」	不正確である。 （「円～/kWh」は単位として不正確である。）	3- (1)
22	97	図2	風力発電 発電の仕組み の図 表記「倍速機」（2か所）	不正確である。 （「倍速機」は不正確である。）	3- (1)
23	98	4 - 5	電池は図3 (a) のように，電流の向きが変わらない直流 (DC) です。	生徒にとって理解し難い表現である。 （図3 (a) は電流の変化を示したものではないため理解し難い。）	3- (3)
24	98	7 - 9	コンセントの電圧は通常100Vや200Vで，図3 (b) のように，電流の向きや電圧が変わる交流 (AC) が使われています。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「電圧が変わる」とはどのようなことか理解し難い。）	3- (3)
25	99	図4	図の下の説明文の1～2行 「交流の場合，電流の向きや電圧が周期的に変化している。」	生徒にとって理解し難い表現である。 （「電圧が周期的に変化している」とはどのようなことか理解し難い。）	3- (3)
26	99	図5	図の下側にある電圧の表記 「275,000～500,000V」 「154,000～187,000V」 「66,000～77,000V」 「22,000～77,000V」	生徒にとって理解し難い図である。 （変電所，変圧器には入口側と出口側があるので，どちらの電圧を表記しているのか理解し難い。）	3- (3)
			「6,600V」		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 4 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
27	99	囲み	実験 の囲み 中央付近の実験装置の図、吹き出しの回路図 全体	生徒にとって理解し難い図である。 （実験装置の図と吹き出しの回路図の関係が不明確なため理解し難い。）	3- (3)
28	101	囲み	実験 の囲み 階段のランプのモデル の回路図 3路スイッチ（2か所）	表記の基準によっていない。 （JISと異なっている。）	3- (4)
29	103	図2	電気ストーブ 左側の発熱体の図 「発熱体」の指示位置	生徒にとって理解し難い図である。 （「発熱体」の指示位置が「石英ガラス管」と同様の部分を指示しているように見えるため理解し難い。）	3- (3)
30	103	図3	エアコン 仕組み 下側付近の圧縮器の右側の記号（2か所）	生徒が誤解するおそれのある図である。 （圧縮器の入口と出口に個別の弁があるように誤解する。）	3- (3)
31	106	図1	電圧の表記 「6, 600V」 「100V」 「200V」	生徒にとって理解し難い図である。 （どこの電圧を表記したものか不明確であるため理解し難い。）	3- (3)
32	111	側注★ 1	0Ω調整 赤テスト棒と黒テスト棒を 接触させること。	生徒にとって理解し難い表現である。 （赤テスト棒と黒テスト棒を接触させてから何をするのか、説明が不足しているため理解し難い。）	3- (3)
33	112	囲み	エネルギーの供給 の囲み 架線の写真の下の説明文 「架線に流された電流をパンタグラフによって電車に供給している。」	生徒にとって理解し難い表現である。 （「架線に流された電流」とはどのようなことか理解し難い。）	3- (3)
34	112	囲み	電気的な仕組み の囲み 新幹線の図の中央付近の表記 「電力交換装置」 回生ブレーキ の囲み	表記が不統一である。	3- (4)
			ブレーキ時と加速時の電気の流れ の図 中央付近の表記 「主変換装置」		
35	112	囲み	回生ブレーキ の囲み 左側の図 左下の表記 「ブレーキ（充電）」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「充電」は電気を蓄えるように誤解する。）	3- (3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 5 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
36	114	図1	自転車の図の左下付近 「スプロケット（後車輪側）」の指示位置	不正確である。 （スプロケット（後車輪側）が指示されていない。）	3- (1)	
37	115	図2	軸と軸受 滑り軸受（平軸受）の図 「軸受メタル」の指示位置	不正確である。 （軸受メタルが指示されていない。）	3- (1)	
38	115	脚注	ひとくち Q46 「その大きさは」 116ページ 脚注 ひとくち A46 「厚さは0.02mm」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （歯車の大きさについて誤解する。）	3- (3)	
39	118	囲み	実験 の囲み [リンクの寸法の例] 「C:60mm D:70mm」	生徒にとって理解し難い表現である。 （上の写真ではCの方がDよりも長いため、「C:60mm D:70mm」は理解し難い。）	3- (3)	
40	120	図4	図の下の説明文の2行 「弁棒を押し上げて弁を開く。」	生徒にとって理解し難い表現である。 （図4でカムが押し上げているのは弁棒ではないため理解し難い。）	3- (3)	
41	122	図1	左下の表記 「ウィンド・ウォッシャ液の量」の指示位置	不正確である。 （ウィンド・ウォッシャ液の量を点検する部分が指示されていない。）	3- (1)	
42	126	5 - 6	選んだものが規格に合うとは限らないので、抵抗などを使って、負荷にかかる電圧や電流を更に調整する必要があります。	生徒にとって理解し難い表現である。 （何の「規格に合うとは限らない」のか、また、「更に調整する」ならばその前の調整はどのようなことか、不明確であるため理解し難い。）	3- (3)	
43	126	脚注	ひとくち A51 「赤色のLED その後、赤、」	生徒にとって理解し難い表現である。 （赤色のLEDに対して、「その後、赤」は理解し難い。）	3- (3)	
44	128	13 - 22	暗くなると自動的に点灯する回路 暗くなると自動的に点灯する回路には、光導電セル（CdS）とトランジスタが必要です。光導電セルは光を感じ取るセンサの役割を、トランジスタはス	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2- (16)	
			イッチの役割をします。トランジスタには通常、スイッチの役割と小さな電流で大きな電流を流す増幅の役割があります。			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 6 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
			暗くなると自動的に点灯する回路 の回路図 暗くなると自動的に点灯する回路 の写真			
45	129	図	ページの右側中段付近 太陽電池発電モジュールの回路図	不正確である。 （太陽電池とダイオードの接続の向きが不正確である。）	3-(1)	
46	129	22 - 29	昇圧モジュール 電源の電圧が低い場合や乾電池1本でLEDを点灯させたい場合は、昇圧回路を使って電圧を高めます。出力電圧が5Vになる昇圧回路を使った場合、電流	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(16)	
			制限抵抗を白色LEDであれば70Ω、赤色LEDであれば125Ωにします。 昇圧回路の例			
			昇圧モジュールの回路図			
47	130 - 131		実習例 LEDで作ろう 防災ライト全体	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(16)	
48	141	図3	右下付近の表記 「制御」	生徒にとって理解し難い図である。 （「制御」が何を示しているのか不明確であるため理解し難い。）	3-(3)	
49	142	側注★ 1	5～6行 「世界の平均気温の上昇を2℃以内に抑制するために」	生徒にとって理解し難い表現である。 （いつの時点と比べて「上昇を2℃以内に抑制する」のか、説明が不足しているため理解し難い。）	3-(3)	
50	142	図5	タイトル 「エアコンの消費電力の推移」	不正確である。 （「消費電力」は不正確である。）	3-(1)	
51	146	16	機械の保守点検の必要性が分かりましたか。	脱字である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 7 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
52	149	上段	2章 栽培または飼育の育成計画	生徒にとって理解し難い表現である。 (栽培または飼育の育成計画)	3-(3)
53	154	図1	図の下の説明文 5～6年搾乳した後	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (5～6年間搾乳すると誤解する。)	3-(3)
54	156	側注★ 2	養殖 食用として売ることを目的に	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全てが食用に養殖と誤解する。)	3-(3)
55	160	中段	スイカ 小づる	誤記である。	3-(2)
56	161	下段	イネ 図中の緑 160ページ上段 凡例 緑 「定植」	不正確である。 (イネには用いない。)	3-(1)
57	163	図1	山口県岩国市原産 京都市左京区聖護院原産 山形県長井市花作原産 鹿児島県桜島原産 神奈川県三浦郡原産	生徒にとって理解し難い表現である。 (163ページ左3～4行 「ダイコンは中央アジア原産」 に照らして理解し難い。)	3-(3)
			愛知県扶桑町原産		
58	163	下段	資料 種苗法 30年間	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全て30年間であると誤解する。)	3-(3)
59	163	下段	資料 種苗法 自家採取	誤記である。	3-(2)
60	165	資料	資料 細根のルビ ほそね	不正確である。 (「ほそね」と読まない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 8 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
61	165	脚注	ひとくちQ67 日の当たる時間の長短に関係なく、花芽を付ける植物	生徒にとって理解し難い表現である。 (日の当たる時間の意味が不明確である。)	3-(3)
62	166	上段	③作物への養分の供給を土の粒子や有機物によって調節できる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (土の粒子や有機物がどのようにして作物への養分の供給を調節しているかの説明がなく理解し難い。)	3-(3)
63	166	脚注	ひとくち A67 キンセンカとダイコンは日が長くないと花芽を付けません。	不正確である。 (「キンセンカとダイコンは日が長くないと花芽を付けません。」)	3-(1)
64	167	上段	セルトレイまき セルトレイや育苗箱などに種をまく方法	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (通常の育苗箱にまいてもセルトレイまきと誤解する。)	3-(3)
65	169	上段	ポイント 正午になり気温が上昇しすぎると	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (常に正午に気温が上昇しすぎると誤解する。)	3-(3)
66	169	上段	ポイント 午後にかん水した場合、日が落ちた後に吸収した水は光合成に用いられない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (午前にかん水した場合との違いの説明が不十分である。)	3-(3)
67	171	中段	ポイント 一番果を摘む目的 果菜類では、最初にできた実を小さいうちに収穫する。 175ページ下段 一番果(最初の実)を小さいうちに摘果する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (収穫、摘果と意味が異なる用語が用いられており理解し難い。)	3-(3)
68	172	上段	挿し芽 挿し穂 179ページ上段 挿し芽の育成 苗は挿し芽から作る。……挿し芽直後は…	生徒にとって理解し難い表現である。 (挿し穂と挿し芽の違いが不明確で理解し難い。)	3-(3)
69	172	中段	水耕栽培 土の代わりに、培養液と培地などに根を張らせて育成します。 ③培地を入れたペットボトルなどの鉢に移植する。 培地は砂やパーンプート、ピートモス	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (水耕栽培で固形培地を用いると誤解する。)	3-(3)
			などを使う。 183ページ上段 ふきだし 水耕栽培だけど、培地が必要なんだね。		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 9 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
70	172	上段	資料 管挿しのルビ かんざ 272ページ中央 管挿しの掲載位置	不正確である。 （「かんざ」と読まない。）	3- (1)
71	172	脚注	ひとくちA70 佐賀大学が研究開発した「アイスプラント」という野菜は、土に含まれる塩分を吸収して成長します。 171ページ脚注 ひとくちQ70 土の塩	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （佐賀大学がアイスプラントを作出し、またその成長には塩分が不可欠と誤解する。）	3- (3)
			分を吸収しながら成長する野菜がある。		
72	173	上段	pH (酸性度)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （pHが酸性度であると誤解する。）	3- (3)
73	173	下段	安全 植物ホルモン剤	不正確である。 （「植物ホルモン剤」）	3- (1)
74	174	上段	健康なイネは50～60cm程度	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （イネは50～60cm程度と誤解する。）	3- (3)
75	174	上段	芽が1mm出たら種まきできる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （芽が1mm出ないと種まきできないと誤解する。）	3- (3)
76	174	下段	土の深さは1株につき、30cm以上	生徒にとって理解し難い表現である。 （1株につき30cm以上が理解し難い。）	3- (3)
77	175	上段	定植	誤りである。 （定植ではない。）	3- (1)
78	175	上段	苗の移し替え 深さ2～3cmまで中心に植える。	生徒にとって理解し難い表現である。 （苗の移し替え、深さ2～3cmまで中心に植えるが理解し難い。）	3- (3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 10 枚目

受理番号 26-35	学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
------------	--------	----------	----------------	--------

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
79	175	下段	技術の匠 有機肥料 169ページ 下段 有機質肥料	表記が不統一である。	3- (4)
80	176	下段	マメシングイガ	誤記である。	3- (2)
81	177	下段	支柱立てと誘引 草丈の長さ	生徒にとって理解し難い表現である。 (草丈の長さ)	3- (3)
82	178	下段	パンジー 原産地 ヨーロッパ	生徒にとって理解し難い表現である。 (179ページ下段 技術の匠 「パンジーは人間が作りだした園芸作物で、約200年の歴史があります」に照らして理解し難い。)	3- (3)
83	183	上段	技術の匠 レタスを自然光とコンピュータで効率的に育成・収穫しています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (コンピュータで育成・収穫が理解し難い。)	3- (3)
84	183	下段	観察 水質 (pH)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (水質がpHであると誤解する。)	3- (3)
85	184	下段	生物の特徴を改良する技術 水田で栽培することで連作障害がなくなり、毎年同じ田でイネが育成できる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イネを水田で栽培できるように改良したと誤解する。)	3- (3)
86	186	2 - 4	私たちが手にする食材には、例えば、苗や種を購入する費用や土などの環境を整えるための費用、管理作業をする人の人件費などを合算して値段が付けられています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (食材の値段の付き方を誤解する。)	3- (3)
87	187	上段	Btタンパク質 Btトウモロコシ	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3- (3)
88	187	下段	iPS細胞の記述	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2- (16)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 11 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
89	188	側注	技術の匠 中段 収穫量の多いイネ 図 収穫量の少ないイネ 図	生徒にとって理解し難い図である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)
90	188	側注	技術の匠 下段 イネをお湯につけ雄花だけの機能を失わせる。	誤りである。 (イネに雄花はない。)	3-(1)
91	188	脚注	ひとくちA78 交配植物です。交配植物とは、自然界では受精する可能性のない植物を人工授粉によって交配し、新種を作ることです。	誤りである。 (交配植物とは新種を作ることではない。)	3-(1)
92	198	2 - 3	私たちは身の回りで起きている現象を、連続した情報として認識しています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての現象を連続した情報として認識しているものと誤解する。)	3-(3)
93	199	7 - 8	この方法では、文字を拡大すると、形が変わってしまいます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を「形」とみなしているか理解し難い。)	3-(3)
94	201	資料	1ビット 0 1) 1通り	誤りである。 (「1通り」ではない。)	3-(1)
95	204	側注★ 1	ドメイン名とIPアドレスを管理しているサーバ（ルートサーバ）から順に	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ドメイン名とIPアドレスを管理しているサーバ全てを、ルートサーバと呼ぶものと誤解する。)	3-(3)
96	204	図2	このサーバは、www.soumu.go.jp ですか。 …… そうです。このコンピュータは、202.214.160.1というIPアドレスです	不正確である。 (質問と答えが対応していない。)	3-(1)
			。		
97	218	脚注	ひとくちA91 文字、音声、映像、動画 219ページ 表1 表現手段 文字 音声 静止画 動画	表記が不統一である。	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 12 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
98	225	脚注	ひとくちQ95 著作権の侵害にならないものはどれでしょう。 ①授業で描いた絵	生徒にとって理解し難い表現である。 (この記述では著作権侵害か判断できず理解し難い。)	3-(3)
99	227	中囲み	人を傷つける表現がないか 自分の体験を基に、書いた。 (以下229ページ 人を傷つける表現がないか みんなの思いを一つにできた。)	生徒にとって理解し難い表である。 (観点と評価内容の対応が理解し難い。)	3-(3)
100	230	中囲み	ものづくりの手順 制作品の設計 奈良・京都の旅 同ページ 左上など 奈良の旅	相互に矛盾している。	3-(1)
101	241	右上囲み	生活に生かそう ①3秒間前に進む。 ②3秒間進んだら、右に90° 曲がり3秒進む。 ③②の動作を2回繰り返す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (前に進むのは計何秒か、また②の動作は計何回か、理解し難い。)	3-(3)
102	245	図3	夜間手押し式信号機のプログラム例 フローチャート全体	生徒にとって理解し難い表現である。 (昼と夜の動作が大きく異なり、作りたい信号機の仕様について理解し難い。)	3-(3)
103	249	下中	丸い写真の下 LED時計 244ページ上中 丸い写真の下 LED教材	表記が不統一である。	3-(4)
104	251	図3	フィッシング	誤記である。	3-(2)
105	254	15	プログラム言語	誤記である。	3-(2)
106	258	中下写真	電子マネーシステムの誕生	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
107	264	右中	TRANSCEND (G:) EPSON E-Photo Microsoft Word …	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

14 枚中 13 枚目

受理番号 26-35		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
108	265 - 269	図	ATOK拡張ツール（17個）	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2- (7)
109	265 - 266	図	左上のWordアイコン（7個） 活用しよう！ワード（6個）	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2- (7)
110	267	図	左上のExcelアイコン（4個） 活用しよう！エクセル（1個）	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2- (7)
111	268 - 269	図	左上のPowerPointアイコン（9個） 活用しよう！パワーポイント（6個）	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2- (7)
112	269	右上図	エクスプローラの左側 Microsoft PowerP	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2- (7)
113	見返④	囲み	青色発光ダイオード（1978年）の囲み タイトルの「（1978年）」	不正確である。 （「1978年」は不正確である。）	3- (1)
114	見返④	囲み	青色発光ダイオード（1978年）の囲み 説明文 「それまであった赤色，緑色のダイオードに青色が加わり，光の3原色がそ	相互に矛盾している。	3- (1)
			ろった。」 126ページ 脚注 ひとくち A51 「その後，赤，黄，橙，青，緑，白と製品化されていきました。」		
115	見返⑥	6	エジソンが白熱電球を実用化（アメリカ，1878年）	不正確である。 （「1878年」は不正確である。）	3- (1)
116	見返⑥	中	最初のコンピュータENIAC（アメリカ，1946年）。	不正確である。 （コンピュータの定義によって何を最初とみなすかわかる。）	3- (1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

14 枚中 14 枚目

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 1 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	口絵③	下段右下	探究 学習内容を深めたり広げたりして、さらに探求してゆく内容。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「探究」「探求」が混在しており、理解し難い。）	3- (3)
2	2	下段	小麦 136ページ下段 小麦 147ページ脚注 豆知識 コムギ	表記が不統一である。	3- (4)
3	2	下段	紀元前10000以前 小麦の栽培 136ページ下段 紀元前10000以前	不正確である。 (紀元前10000以前)	3- (1)
4	3	下段右	地上デジタル放送 177ページ下段右 地上ディジタル放送	表記が不統一である。	3- (4)
5	6	1図	「・環境を整備する技術」引出線が引き出された図の部分	生徒にとって理解し難い図である。 （「・環境を整備する技術」との関連）	3- (3)
6	10		生活の向上 エネルギーの効率向上 右側の表記「LED電球（1990年）」と、その下の写真	生徒にとって理解し難い表現である。 （写真のLED電球について、「1990年」は理解し難い。）	3- (3)
7	12	30図	生物や植物への影響	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (植物が生物に含まれないと誤解する。)	3- (3)
8	14 - 15	図	アイデア 18ページ7～8行 アイディア 18ページ19行 アイディア 18ページ20行 アイディア	表記が不統一である。	3- (4)
9	16	上囲み	防塵めがねを着用する。 78ページ右下囲み 防じんめがね	表記が不統一である。	3- (4)
10	18	脚注	豆知識 食糧自給率	誤記である。	3- (2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 2 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	22	1図	クランク (⇒p. 108)	誤りである。 (「p. 108」にない。)	3-(1)
12	22	1図	玉軸受 (⇒p. 112)	誤りである。 (「p. 112」にない。)	3-(1)
13	23	脚注	ライト兄弟 (⇒p. 4)	誤りである。 (「p. 4」にない。)	3-(1)
14	26	14	適した特徴をもつ材料 18行 優れた機能を持つ材料 脚注3 特徴を持つ。 豆知識 ユニークな電気特性をもつ。 27ページ6行 特徴を持っています。	表記が不統一である。	3-(4)
15	31	脚注	バイオマス (⇒p. 97, 137)	誤りである。 (「p. 137」にない。)	3-(1)
16	43	31図	左図	不正確である。 (7～10行「奥行きを表す線を水平線に対して右方向に45°傾けて、実際の長さの2分の1の割合にしてかく。」と合致しない。)	3-(1)
17	45	37図	対角線は、面が平行であることを示す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「面が平行」)	3-(3)
18	45	37図	4キリ深さ6 穴の深さ6mm 寸法補助記号の例と穴の加工寸法の表し方 (JIS Z 8317-1より)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「4キリ深さ6」「JIS Z 8317-1より」)	3-(3)
19	45	38図	寸法線の矢印は、90° 以内であれば端が開いていても閉じていても使えますが、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「90° 以内であれば」「端が……閉じていても」が何を意味しているのか分からない。)	3-(3)
20	46	39図	左上 平面図	不正確である。 (②側板(2枚)と⑥背板Bとの関係)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 3 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
21	46	39図	仕切り板 47ページ9行 仕切板 47ページ11行 仕切板 47ページ40図 仕切板 47ページ6表 仕切板	表記が不統一である。	3- (4)	
			53ページ14表 仕切り板 （以下省略）			
22	47	40図	図の④棚板（及び、⑥背板B）	不正確である。 （図中の寸法，46ページ39図の寸法と整合しない。）	3- (1)	
23	51	5 - 7	⑧軸のつぶしたところに，30mm側は2か所（端から5mmと15mmの位置），15mm側は1か所（端から6mmの位置）にφ3.2の穴をあける。 49図 ⑧軸の図	相互に矛盾している。	3- (1)	
24	51	11表	φ6×t=1	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「φ6×t」は「1」ではない。）	3- (3)	
25	52	7	325×156×120	不正確である。 （「325」「120」）	3- (1)	
26	57	68図	横引き用の刃は， 56ページ65図 横びき用の刃（3か所） （以下省略）	表記が不統一である。	3- (4)	
27	57	69図	刃渡り 56ページ65図と66図との中間の図 刃 わたり 58ページ「切断」 刃わたり	表記が不統一である。	3- (4)	
28	61	中段右 図	けずる方向（2か所） 5行 削るとき 60ページ86図 削るための 62ページ96図 けずる方向 63ページ101図 削ったら，	表記が不統一である。	3- (4)	
			63ページ右下囲み けずった粉 72ページ18表 けずり， （以下省略） 62ページ16行 こばけずり 62ページ18行 こば削り			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 4 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
			62ページ19行 こばけずり (以下省略)			
29	61	9 - 10	ならい目けずり ・ 木目の方向が、 かなな身が進む方向 と同じ状態 (12～14行) さか目けずり	生徒にとって理解し難い表現である。 (「木目の方向」)	3- (3)	
			・ 木目の方向が、 かなな身が進む方向 と逆の状態。 (18～19行) 裏がねを使ったさか目けずり ・ 木目の方向はさか目けずりと同じ			
30	72	左上	5 木材による制作	誤記である。 (54～70ページの記述「5 木材による製作」と異な っている。)	3- (2)	
31	73	上囲み 4.	友だちの作品を見てみよう。 ・ 友達と協力した点は？	表記が不統一である。	3- (4)	
32	74	20表	作業内容 ●ねじ切りをする 各工程の作業イメージ ねじきり 78ページ1行 4 穴あけ・ねじ切り 78ページ右上囲み ねじ切り 79ページ1行 (2) ねじ切り	表記が不統一である。	3- (4)	
			79ページ右下囲み ねじ切りのジグ			
33	88	左下囲 み	次の視点において、適性であるかを評 価し、	誤記である。 (「適性」)	3- (2)	
34	92		エネルギー変換に関する技術の歴史 1800年代 4行「1813 電灯の発明（デーヴィ） 」	不正確である。 (「1813」は不正確である。)	3- (1)	
35	95	2図	右側中段付近の表記 「厨房」	表記の基準によっていない。 (「厨」は常用漢字以外の漢字であって初出であるが ，読み方が示されていない。)	3- (4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 5 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
36	97	囲み	参考 バイオマス発電 の囲み 説明文の1～3行 「バイオマスとは、動植物などから得られた生物由来の資源のことです。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （生物由来の資源は全てバイオマスであるように読める。）	3- (3)	
37	97	6図	原子力発電（加圧式） の図 右上付近の表記 「変電器」	不正確である。 （「変電器」は不正確である。）	3- (1)	
38	97	6図	太陽光発電 の図 左上付近の表記「反射防止膜」 右上付近の表記「電極（－）」	生徒にとって理解し難い図である。 （「反射防止膜」と「電極（－）」は同じ部分を指示しているように見えるため理解し難い。）	3- (3)	
39	97	6図	火力発電 の図 左上付近の表記 「石油や石炭燃料」	生徒にとって理解し難い図である。 （「石油や石炭燃料」が煙突のような部分を指示しており、理解し難い。）	3- (3)	
40	98	7図	左側の家庭の図 表記 「テレビ（電気エネルギー→情報）」 「エアコン（電気エネルギー→運動エネルギー）」	生徒にとって理解し難い表現である。 （それぞれに示されているエネルギーの関係が分からないため理解し難い。）	3- (3)	
			「トイレ（電気エネルギー→熱エネルギー）」 「冷蔵庫（電気エネルギー→熱エネルギー）」			
41	100	10	元のエネルギー 100ページ 9行 「入力されるエネルギー」	表記が不統一である。	3- (4)	
			100ページの左側の欄 3行「入力されるエネルギー」			
42	100	囲み	? の囲み 右側の 比較方法 の説明文 3～5行「それぞれを手で回し、消灯状態と点灯状態でのペダルの重さを比較する。」	生徒にとって理解し難い表現である。 （前輪を浮かせて手で回すという課題であることから、「ペダルの重さを比較する」は理解し難い。）	3- (3)	
43	101	囲み	参考 発電にかかわる社会の努力 の 囲み 右下の棒グラフの縦軸の表記 「1kW当たりCO ₂ 排出量」	不正確である。 （「1kW当たりCO ₂ 排出量」は不正確である。）	3- (1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 6 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
44	102	囲み	考えてみよう の囲み 右上付近の表記 「柱上変電器」	不正確である。 （「柱上変電器」は不正確である。）	3- (1)
45	102	6 - 8	電流の方向が1秒間に变化する回数を 周波数 (Hz) で表します。	不正確である。 （「電流の方向が1秒間に变化する回数」は不正確である。）	3- (1)
46	102	囲み	参考 電波周波数の分布 の囲み タイトルの表記 「電波周波数の分布」	誤記である。 （「電波」は誤記である。）	3- (2)
47	105		6行の下の リンク 「p. 93「光をつくる」」	誤りである。 （「p. 93」にない。）	3- (1)
48	105	3表	白熱電球 の しくみ・特徴 の欄 8～9行 「家庭用電球の国内生産は2012年に終了した。」	不正確である。 （「家庭用電球の国内生産は2012年に終了した。」は不正確である。）	3- (1)
49	105	脚注	豆知識 「三浦純一」	誤記である。	3- (2)
50	106	4表	誘導モータ の 構造 の欄の図 表記「回転子巻線」	不正確である。 （「回転子巻線」は不正確である。）	3- (1)
51	106	4表	誘導モータ の 構造 の欄の図 表記「固定子巻線」	生徒にとって理解し難い図である。 （どの部分が「固定子巻線」なのか不明確であるため理解し難い。）	3- (3)
52	106	囲み	参考 モータの選び方 の囲み 右から2番目の図の上の表記 「（表示例）6400rpm」	表記の基準によっていない。 （「rpm」はSIの単位ではない。）	3- (4)
53	107	囲み	参考 音や映像と電気信号 の囲み 右側の欄の中段付近 トランジスタ の説明文 1～3行「1947年にアメリカのW. ショックレーらが開発した。」	表記が不統一である。 （「1947」は、「1948」と表記が不統一である。）	3- (4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 7 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
			3ページ 技術の歴史 1900年代 9行「1948 トランジスタの発明（シ			
			ョックレー，バーディーン，ブラッテン）」 93ページ エネルギー変換に関する技術の歴史			
			1900年代 6行「1948 トランジスタの発明（シ ョックレー，バーディーン，ブラッテン）」			
54	108	囲み	参考 速度伝達比 の囲み 説明文の2～4行 「また，二つの歯車の歯数の比をギヤ比といいます。 速度伝達比＝ 原動車の回転速度 /	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （説明が不足しており，ギヤ比について誤解する。）	3- (3)	
			従動車の回転速度 ＝ 従動車の直径（歯数） / 原動車の直径（歯数）」			
55	111	14図	中央の図 ばねの下側付近の線	生徒にとって理解し難い図である。 （細い線が見られるが，何を意味しているのか分からないため理解し難い。）	3- (3)	
56	112	11 － 12	構成される。電気の通り道を	誤記である。 （「。」は誤記である。）	3- (2)	
57	112	囲み	参考 アイロンの温度制御 の囲み 説明文の4行 「左図のように，」	誤記である。 （「左図」は誤記である。）	3- (2)	
58	114	16図	右上付近の表記 「十字穴つき丸皿小ねじ」	不正確である。 （「十字穴つき丸皿小ねじ」は不正確である。）	3- (1)	
59	115	脚注	豆知識 「6月6日は」	不正確である。 （「6月6日」は不正確である。）	3- (1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 8 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
60	117	20図	中央付近の ろう電しゃ断器の例 の写真	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (分電盤の説明文で記述されているろう電しゃ断器と誤解する。)	3-(3)
61	117	21図	左側付近 電力量計と変圧器と電柱を通っている 接地線	不正確である。 (接地線が変圧器を通り抜け電力量計につながっているのは、不正確である。)	3-(1)
62	124		右上付近の写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (写真は、電源が手回し発電コントローラではないため理解し難い。)	3-(3)
63	127	囲み	作品例2 電源を切り替えることができるLEDライト の囲み 全体	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(16)
64	127	38図	左側付近 「手回し発電機」の囲みの部分	生徒にとって理解し難い図である。 (「手回し発電機」がダイオード4つを接続した回路で表されており、理解し難い。)	3-(3)
65	127	囲み	作品例3 暗くなると自動で点灯するLEDライト の囲み 全体	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(16)
66	127	脚注	豆知識 「定電流ダイオード(CRD)とは、電圧や抵抗の変化にかかわらず、一定の電流を流すことができる部品である。使用時には、極性に注意する。また、電	生徒にとって理解し難い表現である。 (「電圧や抵抗の変化にかかわらず」はこの電圧や抵抗なのか不明確であり、「電圧に余裕が必要である」とはどのようなことか説明が不足しているため理解し難い。)	3-(3)
			圧に余裕が必要である。」		
67	128	45図	タイトル 「風車(羽根の部分はカッターナイフで加工できる)」 128ページ 13表 タイトルの右側の	表記が不統一である。 (「羽根」と「羽」は表記が不統一である。)	3-(4)
			記述 「羽の部分をカッターナイフで加工する。」		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 9 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
68	129		実習例6 シークレットボックス全体	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(16)	
69	129	48図	右側付近 「FET 2SK2232」の図記号	不正確である。 (「2SK2232」の図記号として不正確である。)	3-(1)	
70	131		ページの右上の表記 「六角棒レンチ」 74ページ 脚注 豆知識 「六角棒スパナ」	表記が不統一である。	3-(4)	
			115ページ 17図 の表記 「六角棒スパナ」			
71	132	囲み	話し合ってみよう の囲み 左下付近 製品のライフサイクル の説明文 3行「再利用」	生徒にとって理解し難い表現である。 (同じ囲みの中で表記が不統一のため。)	3-(3)	
			右図の左下付近の表記 「リサイクル」			
72	132	囲み	話し合ってみよう の囲み 製品のライフサイクル の説明文 3行「再利用」	表記が不統一である。	3-(4)	
			84ページ 参考 レアメタル の囲み 説明文の10行 「再生利用」 85ページ 参考 3つのRと5つのR の			
			囲み 5つのRの例 の表の表記 「再生利用」 85ページ 164図			
			左上付近の表記 「再生利用」			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 10 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
73	132	囲み	参考 製品のライフサイクル の囲み 説明文の1～2行 「製品のライフサイクルとは、製品が 販売開始されてから販売終了になるま でのサイクルです。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (132ページ 話し合ってみよう の囲みの記述「製 品資源採取から廃棄までの一連の流れのこと。」と異 なっており、理解し難い。)	3-(3)
74	133	囲み	参考 エネルギー変換に関する照明器 具の比較 の囲み 右側の表 全体	生徒にとって理解し難い表である。 (比較の前提条件が不明確であるため理解し難い。)	3-(3)
75	138	22	知的財産 (⇒p. 19, …)	誤りである。 (「p. 19」にない。)	3-(1)
76	139	脚注	豆知識 バイオディーゼル燃料 170ページ脚注 豆知識 バイオディ ーゼル	表記が不統一である。	3-(4)
77	139	脚注	豆知識 アルコール	不正確である。 (「アルコール」)	3-(1)
78	144	上段	左の袋の図 注意 霜に弱いので、夜 間の保湿には注意が必要です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (霜と夜間の保湿の関係が理解し難い。)	3-(3)
79	144	11図	4月5日晴 有機肥料 栽培目的 有機質肥料 準備 有機質肥料	表記が不統一である。	3-(4)
80	145	脚注	豆知識 イチゴの花房は、ランナーの 出ている反対側にできる性質がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ランナーの出ている反対側の説明が不十分で理解し 難い。)	3-(3)
81	146 - 147	左列	14図 147ページ上段 [凡例]	相互の関連が適切でない。 (トウモロコシ, ダイズ(エダマメ), サツマイモの「 エ」 ラベンダーの「ハ」)	2-(11)
82	146	中段	サツマイモ 白抜き文字 果	誤りである。 (果菜類ではない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 11 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
83	146	中段	ナス 白抜き文字 工	誤りである。 (工芸・燃料ではない。)	3-(1)
84	146	脚注	豆知識 栽培時期(早生, 中生, 晩生)	不正確である。 (早生, 中生, 晩生は栽培時期を示す用語ではない。)	3-(1)
85	147	上段	クッションmam	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (クッションmamという作物種があると誤解する。)	3-(3)
86	150	脚注	*3 酸度はpHという値で表される。	生徒にとって理解し難い表現である。 (酸度はpHで表すことができず理解し難い。)	3-(3)
87	151	上段	参考 図中の元肥(黒文字)からの線の指示位置	生徒にとって理解し難い図である。 (指示位置が不明確である。)	3-(3)
88	151	23図	硫安 161ページ脚注 豆知識 硫酸アンモニウム	表記が不統一である。	3-(4)
89	153	脚注	豆知識 目的に合った資料	誤記である。 (「資料」)	3-(2)
90	153	28図	芽がここから出るの指示位置	不正確である。 (指示位置)	3-(1)
91	158	15	痛みやすいもの 158ページ参考 痛んでいたたりする	誤記である。	3-(2)
92	158	下段	参考 作物が完熟すると保存性や流通性が失われます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての作物で失われると誤解する。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 12 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
93	159	下段	ふり返し3 成育(3か所) 152ページ 参考 生育	表記が不統一である。	3-(4)
94	160	33図	摘しん(⇒p. 153)	誤りである。 (「p. 153」にない。)	3-(1)
95	160	下段	③支柱立て・誘引 ブロック塀を使うと	生徒にとって理解し難い表現である。 (図には塀がない。)	3-(3)
96	161	中段	容器栽培の例 茶碗	表記の基準によっていない。 (「碗」は常用漢字以外の漢字であって初出であるが、読み方が示されていない。)	3-(4)
97	161	下段	④ 定植	不正確である。 (イネには用いない。)	3-(1)
98	161	下段	④定植 図 容器に水を入れ、かき混ぜた後に苗を3本程ひとまとめ(1株)にして植えつけ、水を張った大型の容器に沈めて管理する。	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (図では大型容器に沈めた後、植えているように見え理解し難い。)	3-(3)
99	162	下段	次の栽培に向けて 図中の①②③ 2と3番目の株を	生徒が誤解するおそれのある表現、図である。 (図中②③を2と3番目の株と誤解する。)	3-(3)
100	162	脚注	豆知識 果実の表面にある表面の粒	生徒にとって理解し難い表現である。 (表面にある表面)	3-(3)
101	164	上段	①定植 根鉢	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)
102	164	脚注	豆知識 日照時間が短いと花が咲く	生徒にとって理解し難い表現である。 (日照時間と花が咲くことの関係が理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 13 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
103	167	中段	給餌 写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (給餌している写真に見えない。)	3- (3)
104	170	脚注	豆知識 バイオディーゼルとは植物性の食用廃油を使った燃料で、廃油12にメタノール約1を加えるとできる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (廃油を使ったものだけがバイオディーゼルと誤解する、メタノールを入れただけでバイオディーゼルができると誤解する。)	3- (3)
105	171	48図	天候に左右されずに作物を周期的に安定供給できる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (周期的に安定供給できるが理解し難い。)	3- (3)
106	172	上段	考えてみよう 栽培できなかった米	不正確である。 (「米」は作物名としては用いない。)	3- (1)
107	172	上段	考えてみよう 現在は北海道が単位面積あたりの収量で日本一となっています。	誤りである。 (北海道の収量が日本一ではない。)	3- (1)
108	172	下段	参考 農業生物資源研究所 (ジーンバンク)	不正確である。 (農業生物資源研究所 (ジーンバンク))	3- (1)
109	173	上段	参考 ウイルスに感染しない茎頂部の組織	生徒が誤解するおそれのある表現ある。 (茎頂部はウイルスに感染しないと誤解する。)	3- (3)
110	173	中段	技術の活かし方を考えよう 133ページ下段 技術の生かし方を考えよう 240ページ下段 技術の活かし方を考えよう	表記が不統一である。	3- (4)
111	175	左列下 ～右列上	理論上、どのような場所でも作物の栽培が可能(栽培品種に制限はある)です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ理論上品種が制限されるかの説明がない。)	3- (3)
112	175	右列中	植物工場は、栽培品種が限られていること	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ品種が限られるかの説明がない。)	3- (3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 14 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
113	176	下図左 キャプ ション	くさび形文字	不正確である。 (写真がくさび形文字のものではない。)	3-(1)
114	177	下囲み 左欄	7行 1942 大型電子計算機ENIACの開発（モ ークリーら）	誤りである。 (「1942」)	3-(1)
115	178	中囲み 右図 キャプ シ	地球環境の変化を予測したシミュレ ーション	生徒にとって理解し難い図である。 (地球環境の何についてのシミュレーションであるの か理解できない。)	3-(3)
116	184	側注	参考 2～3行 やりとりする規格の一つして、	脱字である。	3-(2)
117	187	7図	⑤届かなかった4番のパケットをもう 一度送るよ。 図中⑤の右、3番パケットから出る矢 印	相互に矛盾している。	3-(1)
118	188	8図	http:/ の下線	不正確である。 (「:/」は通信方式ではない。)	3-(1)
119	188	8図	「www.bcde.ed.jp」のドメイン名の下 線 (「サーバ名」「組織名」「組織の種 類」「国名」) 8図キャプション	相互に矛盾している。	3-(1)
			「※組織名・組織の種類・国名を合わ せてドメイン名という。」		
120	189	下囲み	ふり返り 2 7行 活用性をノートにかいてみよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「活用性」)	3-(3)
121	198	下囲み	人権・プライバシーの保護 5行 噂	表記の基準によっていない。 (「噂」は常用漢字以外の漢字であって初出であるが 、読み方が示されていない。)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 15 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
122	200	23図	端末本体に関する権利 右列8行 色彩（さいしき）	誤りである。	3- (1)
123	202	25図	下段 *3 Digital Versatile Disk-Read Only Memory 207ページ脚注 豆知識 Digital Versatile Disk	表記が不統一である。	3- (4)
			202ページ25図 ●光学式ドライブ Blu-ray Disc		
124	204	30図	右のスイッチの赤いマーク	生徒が誤解するおそれのある図である。 （デジタルの説明であるのに、1と0の間を連続して変化させているように誤解する。）	3- (3)
125	206	34図	「もとの信号」のノイズの位置 「ノイズの影響を受けた信号」	相互に矛盾している。 （「もとの信号」の一部にのみノイズが影響しているよう読み取れるが、「ノイズの影響を受けた信号」波形全体が乱れている。）	3- (1)
126	207	35図 中右	Platinum II	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2- (7)
127	208	36図 キャプション	forkids	誤記である。 （図版中の表記と異なっている。）	3- (2)
128	212	側注	参考 2～4行 ファイルをコピーして分けておくと、 失敗しても元に戻しやすくなります。	生徒にとって理解し難い表現である。 （具体的な分け方や、元に戻しやすくなる理由が示されていない。）	3- (3)
129	215	下囲み 下表	参考 表11行 MPEG形式の音の部分の部分を圧縮した形式。 WAVの約10分の1のサイズになる。	不正確である。 （条件によってファイルの圧縮率は変わる。）	3- (1)
130	218	右欄中	情報モラル リンク p. 200 「人権・プライバシーの保護」	誤りである。 （200ページにない。）	3- (1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 16 枚目

受理番号 26-39		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
131	218	左中囲み	図形描画ソフト 183ページ1行 ソフトウェア 以下, 多数	表記が不統一である。	3- (4)
132	220	中囲み下	情報モラル リンク p. 200 「著作物の利用」	誤りである。 (200ページにない。)	3- (1)
133	221	脚注	豆知識 コンピューター 180ページ 学習の目標 コンピューター	表記が不統一である。	3- (4)
			以下, 多数		
134	225	54図	エアコンによる室温調整の例 △: アナログ信号 ▲: デジタル信号	誤記である。	3- (2)
135	227	56図下段	お湯をいれる お湯を入れる 粉末を入れる 粉末をいれる	表記が不統一である。	3- (4)
136	228	59図	フローチャート Aに正解の5を代入	相互に矛盾している。 (「仕事の手順」の「はじめに正解の数(5)を入力する」という指示と異なっている。)	3- (1)
137	229	下表	参考 命令語のかき方 IF 処理 THEN 処理1 ELSE 処理2 命令語の意味	相互に矛盾している。	3- (1)
			もし条件にあえば処理1を実行し, あわなければ処理2を実行する		
138	233	68図	右回転 1秒 232ページ66図課題1 右回転 0.5秒	相互に矛盾している。	3- (1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

17 枚中 17 枚目

受理番号 26-39	学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
------------	--------	----------	----------------	--------

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
139	233	左中囲み	左によける 図中の矢印	相互に矛盾している。	3- (1)
140	235	脚注	豆知識 無人で動く車両は、工業だけでなく、 交通機関にも利用されている。	生徒にとって理解し難い表現である。 （下囲みの参考「工場で材料や製品を自動的に搬送する」に照らして理解し難い。）	3- (3)
141	237	上囲み 右図	フローチャート 「赤外線センサが規定値より大きい」 のYes/No ロボットの動き ②ボールを見つけたら追いかける。	相互に矛盾している。	3- (1)
			※赤外線センサが規定値より大きくなる		
142	237	左欄下	リンク p. 228 「センサつきライトの処理手順を考えてみよう」 228ページ2行 1. センサつきライトの処理手順を考	表記が不統一である。	3- (4)
			えよう		
143	246	囲み	参考 フロンガス の囲み 説明文の7～8行 「2020年までに使用が禁止されます。」	不正確である。 （「2020年までに使用が禁止されます。」は不正確である。）	3- (1)
144	253	上囲み 中	スクロール 人差指で、中央のホイール（回転）ボタンを押す。 図中の矢印	相互に矛盾している。	3- (1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。